はつらつ道政レポート 第3回・第4回定例会 決算特別委員会報告 No.291

日本共産党 道議会議員

真下 紀子

発行

真下紀子事務所

旭川市3条16丁目左7号 TEL 0166-20-0808 FAX 0166-20-1616

道民のくらし優先に転換を!

お金がなくて ご飯をがまん

子どもの成長に大きな影響

子ども達の中には、必要な栄養を学校給食に頼っているため、夏休み後に体重が減るなど切ない実態があります。道が行った子どもの生活実態調査では、貧困による低栄養が健康や成長に及ぼす影響まで把握できていません。調理する人の家庭への派遣やNPO等による食事の配達、調理技術の練習、食品の提供などを広げ、相談体制を充実するよう求めました。道は、家庭生活支援事業の実績が8市にとどまっているので、利用促進を働きかけると答えました。



JR北海道に車いすで乗る場合、予約していても専用席のない特急ライラックや近距離乗車は客車ではなくデッキに乗車さ



せるという驚くべき対応です。真下議員は厳寒のデッキ乗車の改善など、ハード・ソフト両面での対応と改修費用の補助などを求めるよう提案しました。道は、「JRは公共交通機関として利用者の立場での対応が求められる」と答え、国とJR北海道に働きかけをすると答えました。また、障がいがあっても安心して観光できるようにバリアフリー観光の普及も求めています。

知事「事業費増額行わない」守らず

3ダム事業/増額1,056億円

サンルダム事業で高橋知事は、「総事業費の増額を行わない」と意見を付けて昨年31億円を増額しました。さらに今年32億円の増額を提案しました。知事意見は一向に守られていません。国直轄ダムはサンル、沙流川(二風谷・平取ダム)と幾春別川(新桂沢・三笠ポンベツダム)の総合開発事業が行われ、総事業費は当初の1,770億円から約1,056億円も増額され、約2,826億円にまで膨れ上がっています。



女性部長職 2年連続ゼロ

女性幹部職員の登用後退

高橋知事の誕生後、道庁の部長級 171名 中女性は3名でしたが、この2年は連続ゼロ、女性幹部登用は進んでいません。採用者に占める女性の割合も43.3%から27%に激減し、将来も不安です。男性職員の育児休業取得と出生時の休暇取得率も目標に程遠く、「トップの姿勢が問われます」とただしました。

知事は「さらなる着実なとりくみが必要」と不十分さを認め、「女性主幹級職員へのリーダー研修、短時間勤務で育児休業から職場復帰できる仕組みを検討している」と答えました。

